

試合番号 : 391	試合会場 : 宝来屋郡山総合体育館 (郡山総合体育館)	観客数 : 1,282			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:30	試合時間 : 01:30			
主審 : 津嶋 由香	副審 : 早坂 行博				
デンソーエアリービーズ	通算 8勝 10敗 ポイント : 25	25 第1セット 14	PFUブルーキャッツ	通算 7勝 11敗 ポイント : 23	
監督コメント 昨日の敗戦を修正して、福島、郡山の方々に勝利を届けようという試合に臨みました。序盤から相手の攻撃をディグして攻撃に繋げるという形を作ることができました。サードも昨日よりも攻めることができ、有利な展開を作れました。「粘って、決め切る」を体現できた試合になりました。2日間の熱いご声援を送っていただきありがとうございました。次のホームゲームもぜひ会場と一緒に盛り上がりましょう！	3	27 第2セット 25	0	監督コメント 今日の試合は内容が良くなかった。昨日はブロックや相手のミスで得点することができていたが今日はそうはいかなかった。自分達で取れる得点を増やしていかなければいけないと思う。本日も応援していただき、ありがとうございました。	
		25 第3セット 20			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート お互いに7勝10敗で並ぶデンソーエアリービーズとPFUブルーキャッツの一戦。郡山市をホームタウンとするデンソーは何としても勝利し、レギュラーシーズン後半戦に向けて勢いつけたいところ。第1セット、デンソーはネリマン、PFUは志摩、ジャンの攻撃を中心に得点を重ねる。中盤、PFUはサーブで崩され、アタッカーのミスが出始める。一方のデンソーは効果的なブロックタッチやディグを成功させ、中元を中心に速い攻撃でトランジションアタックを決めリードを広げる。PFUは鍋谷、島原を投入し流れを変えようとするも、デンソーの勢いは止まらず、デンソーがセットを先取した。第2セット、デンソーは相手のサーブミス、アタックミスもあり5点リードでゲームを進める。PFUはタイムアウト後、バルデスを中心に6連続得点をあげゲームの流れを引き戻す。中盤以降はPFUバルデスが中元を中心に一進一退の攻防となる。後半に入ると、デンソー・ネリマンの連続ディグ、バックアタックが決まり会場を盛り上げる。攻守に渡るネリマンの活躍とホームの応援の後押しもあり、デンソーがセットを連取した。第3セット、負けられないPFUはバルデスを中心に攻撃を展開する。デンソーは横田(紗)、中元の連続ブロックポイントなどで大きくリードを奪う。PFUは選手交代により徐々に点差を詰めるが、中元を中心に速いサイド攻撃を展開したデンソーがそのまま逃げ切り、セットカウント3-0で勝利した。					

試合番号 : 392	試合会場 : 大田区総合体育館	観客数 : 1,542			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:15	試合時間 : 02:15			
主審 : 渡部 菜保子	副審 : 明井 寿枝				
JTマーヴェラス	通算 15勝 3敗 ポイント : 43	25 第1セット 19	日立Astemoリヴァール	通算 7勝 11敗 ポイント : 21	
監督コメント 2日間同カードの対戦方式で、2日目は相手も新しい戦術を組むので、全く新しいチームと対戦するような気持ちで、私達も戦術を考えなければならぬ。今日は自分達の攻撃が相手に対応され、苦しい時間が多かった。最終セットはホームゲームでの皆様の応援と選手の勝ちたい気迫が勝利につながった。ホームゲームで連勝でき、これからの後半戦に向けて勢いをつけられました。2日間ありがとうございました。	3	25 第2セット 22	2	監督コメント 昨日の試合から、考え方やメンバーなどに変化を加えて今日の試合を迎えました。粘り強く戦い、フルセットまで持ち込みましたが、最後勝ち切ることができませんでした。良い面も課題も両方あったので、良いところは伸ばしつつ、課題は克服できるように、今日の悔しさを忘れずに向き合っていきます。2日間応援ありがとうございました。来週もアウェイでの戦いとなりますが、チーム一丸となり頑張ります。引き続き応援よろしく申し上げます。	
		20 第3セット 25			
		15 第4セット 25			
		18 第5セット 16			
要約レポート 第1セット、序盤にややリードを奪ったJTマーヴェラスであったが、中盤に入り日立Astemoリヴァールが追いついた。終盤、JTは交代が入った東のサーブから連続得点で日立Astemoを突き放し、最後はロウのアタックが決まり、セットを先取した。第2セット、互角のスタートで両者一歩も譲らず中盤に入る。JTは交代が入った和田が要所で得点し、リードを奪った。JTはその後もリードを保ち、最後はロウのアタックが決まり、セットを連取した。第3セット、後の日立Astemoはセットを境に中盤、タップ、長内、野中が活躍し序盤からリードを奪った。中盤、日立Astemoは追いつかれる場面もあったが、最後は上坂のアタックが決まり、セットを取り返した。第4セット、日立Astemoは上坂が要所で得点し、リードを奪った。日立Astemoはその後もリードを広げ、最後は野中がブロックを決めてセットを連取し、勝負の行方は最終セットへ。第5セット、波に乗る日立Astemoはタップのブロック、渡邊、上坂のアタックでリードを奪ったが、試合はデュースにもつれ込む。最後はJTタツタオのブロックが決まり、JTが勝利を手に入れた。					

試合番号 : 393	試合会場 : 岐阜メモリアルセンター 愛ドーム	観客数 : 1,739			
開始時間 : 15:05	終了時間 : 17:11	試合時間 : 02:06			
主審 : 城 智人	副審 : 来川 知裕				
東レアローズ	通算 13勝 5敗 ポイント : 37	21 第1セット 25	NECレッドロケッツ	通算 12勝 4敗 ポイント : 37	
監督コメント 昨日の敗戦を無駄にすることなく糧にして、今日はチーム全員で戦い抜くことができました。厳しいゲームでしたが、勝ち切れたことは選手のさらなる成長に繋がるといえます。一戦一戦成長していくチームとなれるよう精進していきますので、応援よろしくお願いします。	3	21 第2セット 25	2	監督コメント 本日も沢山の応援ありがとうございました。非常に悔しい敗戦となり、自分達はまだまだだと痛感する試合でした。チームとして攻め負けてしまいましたが、自チームのオフェンスが空白になってしまったことも苦しいゲームとなった要因だと感じたので、もう一度強くなるための準備をしていきたいです。来週も全力で戦いますので、熱い応援をよろしく申し上げます。	
		25 第3セット 20			
		25 第4セット 22			
		15 第5セット 10			
要約レポート V・レギュラーラウンド中盤、上位で激しい順位争いを繰り広げる東レアローズとNECレッドロケッツの一戦。東レはホームゲームでの勝利を、NECは連勝を取め、首位を猛追したい両チームの意地がぶつかり合う試合となった。第1セット、スタートから山内、古谷が息を吐いたNECがリードを広げる。テクニカルタイムアウト後も落ちついたゲーム運びで、クラン、石川を軸に攻める東レを振り切り、NECがセットを先取した。第2セット、一進一退の攻防を繰り広げ、互いに点を取り合う展開。終盤、東レはクラン、石川が踏ん張り必死に追いつけるが、NECは古谷、古賀、そして最後はサイドアウトを山田が確実に奪い、セットを連取した。第3セット、後がなくなった東レは、このセットのスタートから入った井上がチームに勢いをつける。テクニカルタイムアウトをリードして折り返すと、アタック、ブロックに躍動する石川に続いてクランも調子を上げ、終盤は大爆発。そのままの勢いで東レがセットを取り返した。第4セットは互いに譲らず手に汗握る展開となる。この状況を打ち破ったのは東レ。NECの堅い守りをこじ開け、終盤には6連続得点もあり、石川、井上、クランの攻撃で逃げ切った。第5セット、熱戦に終止符を打ったのは東レ。クランのアタックで得点を重ね、最後は石川が3連続得点をあげてホームゲームに勝利した。					

試合番号 : 394	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイング体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 1,182			
開始時間 : 13:05	終了時間 : 15:29	試合時間 : 02:24			
主審 : 岡田 崇	副審 : 新田 浩幸				
ヴィクトリーナ姫路	通算 2勝 16敗 ポイント : 10	25 第1セット 19	トヨタ車体クインシーズ	通算 10勝 8敗 ポイント : 27	
監督コメント 昨日に引き続き大勢の皆様にご来場賜り誠にありがとうございました。昨日の試合を振り返り、ディフェンス面の修正を図って今日の試合に臨みました。チーム全員が粘り強くプレーしてフルセットに持ち込んだことは私達にとっては、大きな収穫でした。勝利できなかった原因を明らかにして次週の試合に臨みます。引き続きご声援のほどよろしくお願い申し上げます。	2	23 第2セット 25	3	監督コメント 2日間の姫路大会でしたが今日も素晴らしい雰囲気での試合ができ、ありがたかったです。フルセットでの苦しい展開であったが、勝つことができ良かったです。選手一人ひとりが集中を切らさず最後までよく戦えました。チームとしての修正点はまだあるので、来週のホームゲームに向けてまた準備していきたいです。本日も応援ありがとうございました。引き続きご声援のほどよろしくお願い申し上げます。	
		17 第3セット 25			
		25 第4セット 23			
		9 第5セット 15			
要約レポート 地元姫路のファンの前で昨日の雪辱を果したいヴィクトリーナ姫路と、連勝して弾みをつけたいトヨタ車体クインシーズの対戦。第1セットは田中、金田の要所でブロックが決まり姫路が先取したが、第2セットはトヨタ車体がダニエルの連続ブロックから逆転しセットを取り返した。第3セット、トヨタ車体は姫路の攻撃をかかわりながら、ハッターの速攻や山の上のトスフェイントで終有利とし、勝利に王手をかける。第4セット、後がなくなった姫路は、清田、花井両レボの好リシーブから得点を重ねて流れを掴むと、ホームの後押しを受けて執念で最終セットに持ち込んだ。第5セット、姫路は好調な出だしとなるも、トヨタ車体はダニエルの強烈なアタック、嶋原のサービスエースでリズムに乗り、大川の巧みな攻撃で得点を重ねる。姫路は古市、佐々木、宮部のアタックで必死に追いつけるも、トヨタ車体が連勝し10勝目をあげた。					

試合番号 : 395		試合会場 : 笠岡総合体育館				観客数 : 630			
開始時間 : 14:05		終了時間 : 16:26		試合時間 : 02:21		主審 : 慈眼 雅啓		副審 : 戸川 太輔	
岡山シーガルズ		通算 3勝 13敗 ポイント : 13		23 第1セット 25		KUROBEアクアフェアリーズ		通算 5勝 11敗 ポイント : 13	
監督コメント	チームとして目指す方向に成長している時間が長く出たが、いけると思った時に隙が出たことで、第5セットのチャンスを逃した。この教訓をこの先勝ち星を取るためにも克服しなくてはならない。2日間にわたり、熱い応援、誠にありがとうございました。			23 第2セット 25		全てのセットにおいて、点数を獲得することが難しく、非常にタフなゲームとなりました。最後は全選手の「勝ちたい」という気持ちが力になったと思います。引き続きチームの成長を目指し戦います。			
				29 第3セット 27					
				25 第4セット 22					
				12 第5セット 15					
				2					
要約レポート									
互いに勝って順位を上げたい岡山シーガルズとKUROBEアクアフェアリーズの一戦。第1セット、岡山は宮下の多彩なトスワークでタナッチャ、田口、長瀬が得点すると、KUROBEは高橋、山口が得点し競り合った展開となる。終盤まで競り合いが続くが、最後はKUROBEがイヴェギンの連続得点で岡山を突き放し、セットを先取る。第2セット、岡山は長瀬、金田、中本を中心に攻め、リードを奪う。KUROBEは山口のサービスエースで流れを掴むと、コクラムの活躍でセットを連取する。第3セット、岡山は金田、中本が、KUROBEはイヴェギン、高橋、コクラムが得点を重ね、一進一退の攻防となる。岡山はタナッチャの連続サービスエースや、代わって入った佐伯の攻撃で得点すると、会場からの拍手を力に大接戦の末、セットを奪い返す。第4セット、岡山は金田、付、長瀬、KUROBEは戸部、イヴェギン、コクラムを中心に互いに点を取り合う展開。岡山は付の連続ブロックなどでリードすると、タナッチャや付が得点を重ね、このセットも奪いフルセットに持ち込んだ。第5セット、岡山は長瀬、タナッチャが得点を重ねリードを奪う。KUROBEは梅津のサービスエースから勢いに乗り逆転すると、高橋のブロックで粘る岡山を突き放し、フルセットの接戦に勝利した。									

試合番号 : 396		試合会場 : 照葉積水ハウスアリーナ (福岡市総合体育館)				観客数 : 1,306			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:31		試合時間 : 01:31		主審 : 吉岡 奈々		副審 : 黒岩 健	
久光スプリングス		通算 11勝 7敗 ポイント : 32		25 第1セット 19		埼玉上尾メディックス		通算 11勝 5敗 ポイント : 31	
監督コメント	2日間のホームゲーム、たくさんの応援ありがとうございました。昨日の修正点をしっかりと整理して、本日のゲームに臨みました。本日も相手のディフェンスに苦しめられる場面が多ありましたが、昨日と違い、ラリーを多く勝ち取ることができました。来週も負けられない試合が続きますが、引き続き応援よろしくお祈りします。			25 第2セット 18		久光スプリングスのサーブ戦術にストレスをかけられて、自分たちの攻撃力を抑えられてしまった。また、守備面に関しても、久光の昨日からの変化に対応できなかった。非常に悔しい結果となってしまったが、この悔しさを選手とスタッフで共有し、更なる成長へのエネルギーに変えたい。本日も応援ありがとうございました。			
				25 第3セット 18					
				第4セット					
				第5セット					
				3					
要約レポート									
昨日の悪い流れを断ち切って、ホームゲームでの連敗を阻止したい6位久光スプリングスと、連勝を伸ばして上位に迫りたい4位埼玉上尾メディックスの一戦。第1セット、濱松を先発で起用した久光は、その濱松の速攻とブロード攻撃で一気にリードを広げると、サーブでもショートサーブを多用し埼玉上尾のレシーブを揺さぶる。埼玉上尾もロゾにボールを集めて粘りを見せるが、久光に傾いた試合の流れを止めることはできず、荒木のセンター攻撃やブロックも決まり久光がそのままセットを先取した。第2セット、久光は濱松、荒木のセンターラインから攻めつつ、ファンヘックがブッシュ、強打と攻撃を決め、最後まで安定した試合運びでセットを連取した。第3セット、後のなくなった埼玉上尾は、ロゾのサイド攻撃や青柳、サンティアゴの速攻で流れを変えようとする。しかし、久光はセッター栄が巧みトス回しで攻撃を組み立て得点を重ねると、ディフェンス面でも最後まで攻め続け、ストレートで勝利した。昨日、久光は埼玉上尾の堅いレシーブに苦しめられたが、今日はフェイントやショートサーブで相手レシーブを乱すなど、対策を講じて見事勝利した。									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									